

## 光合成タンパク質一つ一つを見る

100年ほど前、それまで多くの学者も半信半疑だった原子、分子の存在をはっきりと突きつけたのはアインシュタインのブラウン運動の理論でした。しかし、分子1つを見る技術を手にするまでには、それからさらに数10年の時間が必要でした。現在、一つの光合成タンパク質からの蛍光を検出することは、比較的簡単にできるようになっています。一つの分子を観測することで、全く同じ分子であっても置かれている環境によって違って見えたり、時間とともにスペクトルが揺らいだりする現象が見えてきます。特に、光合成タンパク質は分子1つだけでも十分に複雑な系であり、いろいろな顔を見せてくれます。・・・